

足の痛み、しびれにご用心

和歌山病院市民公開講座

本当は怖い閉塞性動脈硬化症 畑田医長が症状や予防法等語る

独立行政法人国立病院機構和歌山病院の第7回市民公開講座が21日、御坊商工会館で開かれた。テーマは足の血管の動脈硬化で歩行困難となり、進行すれば足を切断することにもなる「閉塞性動脈硬化症(ASO)」で、中高年の男性や主婦を中心に約90人が来場。同病院心臓血管外科医長の畑田充俊医師が「足を守ろう」と題し、病気の初期症状とその見分け方、治療法、予防法などについて話をした。また、栄養管理室の須賀勇和室長が高血圧予防の減塩食生活について講演した。



閉塞性動脈硬化症について講演する畑田医長

閉塞性動脈硬化症の主な症状

<p>冷感・しびれ感</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手足が冷たい ●手足がしびれる ●手足の指が青白い 	<p>かんぱつはいこう 間歇性跛行</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一定距離を歩くと、主にふくらはぎなどが痛めつけられるようになり、休まなければならぬ(数分で回復) ●階段をのぼるの時は特につらい
<p>あんないじとうつ 安静時疼痛</p> <ul style="list-style-type: none"> ●じっとしていても手足が痛み、夜もよく寝れない ●刺すような痛みが常に持続している 	<p>かいよう えし 潰瘍・壊死</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手足に治りにくい潰瘍ができる ●壊死部は黒くなる

(科研製薬㈱ホームページより)

動脈硬化は心臓(狭心症、心筋梗塞)や脳(脳梗塞)だけでなく、好きたった歌手の村田英雄は35歳で糖尿病に起因する病気を「閉塞性動脈硬化症」とい

足の閉塞性動脈硬化症を引き起こし、壊疽状態が進んで膝から下を切断、その6年後に73歳で亡くなった。

畑田医長はこの放置すれば足が腐る病気の初期症状として、▽歩くとふくらはぎに痛み、しびれを感じる▽手足が冷たく感じる▽足の指や爪の色が左右で違う▽などを挙げ、さらに喫煙、糖尿や高血圧の病気、遺伝的要因も含め、これらのうち2つ以上当てはまる人は下肢動脈硬化症の可能性があると指摘。「早期発見のた

検査の結果、閉塞性動脈硬化症と診断されたり、治療は症状の重症に合わせた行う。初期ならば禁煙、運動、食生活の改善を行い、これでよくなる場合もあれば、血管を広げるなどの薬物療法、さらに重症の人は血管内に管を入れて狭くなった部分を風船(バルーン)やステントという網状の枠を入れるカテーテル治療、血管バイパス手術などがある。

Living Health

●金曜特集 くらしと健康のページ●

検査の結果、閉塞性動脈硬化症と診断されたり、治療は症状の重症に合わせた行う。初期ならば禁煙、運動、食生活の改善を行い、これでよくなる場合もあれば、血管を広げるなどの薬物療法、さらに重症の人は血管内に管を入れて狭くなった部分を風船(バルーン)やステントという網状の枠を入れるカテーテル治療、血管バイパス手術などがある。